

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 バイキング・コンクエスト	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.510	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：バイキング・コンクエスト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

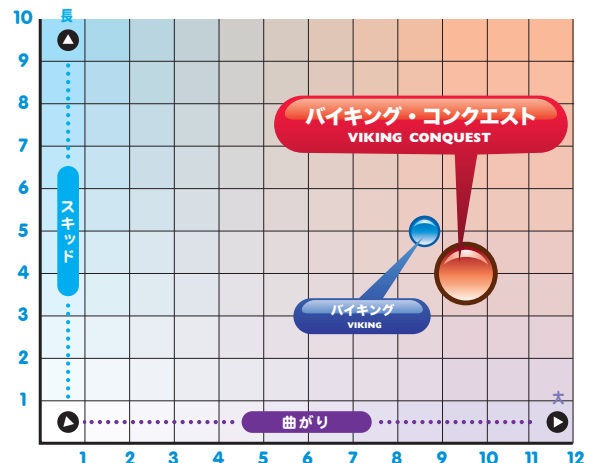
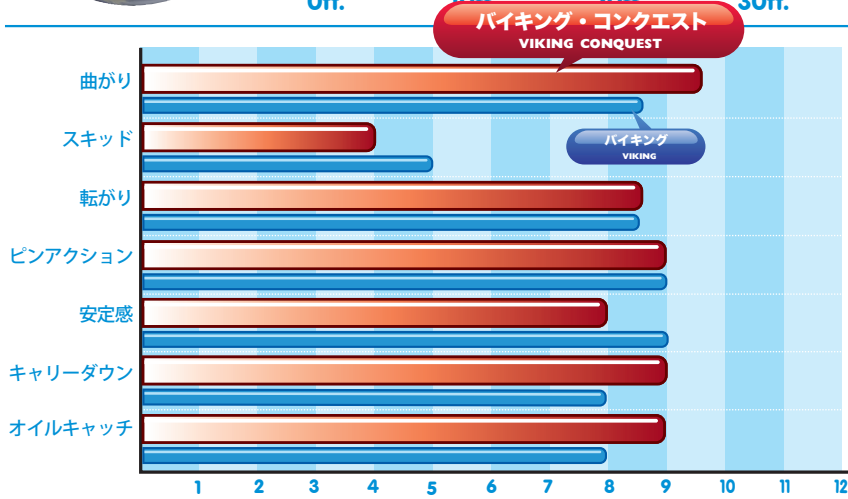
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：バイキング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

VIKINGは、“誰もが扱える安定性”と“確実にポケットへ導く再現性”を融合させた完成度の高さにより、競技志向のボウラーから高い評価を受けたモデルでした。過度な暴れを抑えつつも、レーン全体を通して読みやすい軌道を描くその特性は、いわゆるベンチマーク的存在としてバックに常備されるケースも多く見られました。

今回登場する「VIKING CONQUEST」は、その完成されたコアテクノロジーを継承しながら、カバーストックにRB94 Solid、さらに2000Grit Abralon仕上げを採用することで、よりオイルの多いコンディションに適応させたモデルと言えます。

RB94 Solidは、近年の900GLOBALにおいて評価の高いソリッド素材の一つであり、オイルに対する確実な摩擦と安定したトラクション性能を発揮します。特筆すべきは、その“強さの質”にあり、単に早く噛むだけではなく、レーン中盤でしっかりとエネルギーを蓄えながら、バックエンドも明確な動きがみられることです。

また前作VIKINGが持っていた“直進性の中にあるコントロール性能”はSolid化と2000Grit Abralonによる表面仕上げによって過度なスキッドを抑えつつ、レーン手前から中盤にかけての接地感を強化し、オイルの濃淡を的確に捉える能力を向上させています。実際の投球では、手前から適度にレーンを掴みながらも、動きが鈍化することなく、バックエンドでややシャープに軸移動が行われます。いわゆる“だらっとしたソリッド”ではなく、しっかりとしたキャッチを感じさせながらも、ピンに向かうエネルギーが持続するため、入射角とピンアクションのバランスにも優れていると言えます。

総じて「VIKING CONQUEST」は、前作の完成度をベースにししながら、“より強く、より明確に、そしてより使える”性能へと昇華された一球です。ミディアムからミディアムヘビーにかけてのコンディションにおいて、ゲームの組み立てを安定させる軸となる存在であり、ファーストボールとしての判断材料としても、スコアメイクを支える主軸としても高い信頼を置けるモデルと言えるでしょう。

特記事項

まさに“征服”の名に相応しい、レーンを支配するための進化形。それがVIKING CONQUESTです。